

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		まあるまある			公表日	2026年 1 月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	大きな段差などなく、安全に過ごせる環境を整えている。道具の置き場などを工夫し、気が散らないような配慮をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	状況に合わせた部屋の使い方ができるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	日々、打ち合せと振り返りを行う時間を設けています。職員で課題を共有し、業務改善につとめています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価結果をもとに、保護者の意向の把握と業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員で話し合う時間を定期的に設けており、業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		現在、第三者による外部評価は行っておりませんが、今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的に内部研修を行い、職員の資質の向上を図っています。外部研修を受講する機会も確保されており、職員のスキルアップに繋がっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者との面談や日々のお子さまの行動観察から保護者および本人のニーズを把握し、その内容を取り入れた計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援計画会議を開催し、全職員の意見を出し合いながら、ひとりひとりに合った療育内容を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画をもとに日々の支援目標を立てています。打ちあわせ時に職員で内容を共有し、一貫した支援が行えるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	日々の観察などによるアセスメントを中心に子どもの適応行動の状況を確認しています。	標準化されたツールによるアセスメントを行う頻度をさらに増やしていくことを検討します。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインのねらい及び支援内容を職員が理解し、それらを踏まえて日々の支援プログラムを設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	考えた活動プログラムをチームで共有し、子どもに適したプログラムであるかの検討を行った上で立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	同じ内容が続かないよう、年度初めに一年間の月ごとの計画を立てています。また、子どもに合わせて日々やり方を変える工夫もしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	アセスメントやニーズに応じて計画を作成しています。集団活動、個別活動を適宜、組み合わせながら支援を行っています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前にミーティングを行い、情報共有や役割の把握などについて話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援内容の振り返りを行い、職員で話し合っています。保護者からの情報についても共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	お子さん一人ひとりについて細かく記録に残しています。改善が必要と思われる際は、適宜話し合いを行い、改善につとめています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1回、モニタリングを行なっています。定期的に職員全員で意見を出し合って内容の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者とともに日々関わっている職員も参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保育所等の関係機関と連携し、支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	必要時には園と情報共有を行い、相互理解を図るよう努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	定期的に専門の先生を招いて症例検討会を行い、助言を受ける機会を設けております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		現在交流は行なっておりませんが、今後必要に応じて検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時に日々の活動の様子を伝え、状況や課題など共通理解できるようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		今後、ペアレントプログラムの取り入れを考えています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に今後通われる保護者の方へ不安がないように常に丁寧な説明を心がけて行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	保護者の方に確認してもらいながら一つずつ説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎時や電話にて相談をされた時には、時間を設けて面談を行うようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		父母の会の活動はありませんが療育参観等で交流の場を設けています。今後も継続させていただきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	申入れがあった際には、すぐに対応ができるように心がけています。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月2回、Instagramで活動の様子などを発信しています。活動予定などは連絡帳に記載するとともに玄関に掲示しています。	現在、HPの作成をすすめています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		現在、地域の方々と交流の機会を設けておりませんが、今後必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを作成し、研修や訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に避難訓練等、必要な訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	必ず契約時と初回通所時に保護者の方へアレルギーの有無を確認し、対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	避難訓練、不審者訓練などの取り組みをSNSや送迎時にお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットがあった際には、職員で共有し、再発防止に向けて話し合う機会を設けています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修機会を確保しており、研修の受講後には他の職員へ周知徹底しています。	定期的に研修内容を振り返り、日々の業務改善に努めます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	危険性があると判断した際は、身体拘束をせざるを得ない旨を契約時に説明しています。	